

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00039）

事務事業名称		防犯対策の推進					款	02	項	01	目	08	事業	002	整理番号	041
現担当課名		危機管理対策課			係名	地域安全担当係			連絡先電話番号	1585		昨年度整理番号	039			
上位施策No・施策名											03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	平成15年度	実行計画事業				目標	01	施策	03	計画事業	01	02	03	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
	平成26年度担当課名	危機管理対策課										事業評価区分	一般			
	対象	区民				根拠法令等	(1)		杉並区生活安全及び環境美化に関する条例							
						根拠法令等	(2)		杉並区地域防犯自主団体活動助成金交付要綱							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	防犯対策を推進することにより、区内の犯罪抑止を図る 区民に対し、防犯意識の普及啓発を進めることにより、安全安心して暮らすことのできる社会を目指す。				活動指標	指標名（1）		犯罪発生情報メール登録者数							
					指標説明	指標名（2）		防犯診断実施世帯数								
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	杉並区安全パトロール隊及び委託警備業者による区内防犯パトロールの実施 防犯自主団体に対する補助金の交付等の活動支援 安全パトロール隊員による防犯診断の実施 犯罪発生情報メールの配信及び登録者の拡大 街角防犯カメラの設置の推進及び防犯協会の防犯カメラの補助金交付（維持管理） 地域全体の防犯意識の高揚をはかるため、防犯啓発イベントの実施及び啓発物品の作成・配布				成果指標	指標名（1）		刑法犯認知件数								
					指標説明	指標名（2）		殺人、強盗など刑法に規定する全ての犯罪認知件数（交通事故及び特別法犯を除く） 空き巣発生件数								
総事業費・コスト把握	区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	平成26年度 予算執行率(%) 87.4 特記事項 防犯カメラの設置費用について、工事請負費でなく賃貸借料で支出したことにより、執行額に残が生じている。						
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
	指標	活動指標（1）	1 人	16,186	18,000	15,939	16,000	17,036	17,000		106.5					
		活動指標（2）	2 件	1,879	40	45	47	18	30		38.3					
		成果指標（1）	3 件	5,634	5,000	5,431	5,000	5,248	5,000		105.0					
		成果指標（2）	4 件	201	180	196	180	154	160		85.6					
	事業費	事業費	5 千円	75,627	76,364	66,638	70,857	61,962	73,866							
		(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0							
		(内) 委託費	7 千円	43,469	40,836	37,044	45,086	38,086	40,860							
		職員数	常勤職員数	8 人	2.58	2.00	2.63	2.00	2.41			2.00				
			再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00				
			非常勤職員数	10 人	17.00	18.00	17.00	17.00	17.00			17.00				
		人件費	常勤職員分	11 千円	22,446	17,260	22,697	17,620	21,232			17,620				
			再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0			0				
			非常勤職員分	13 千円	46,750	50,040	47,260	48,110	48,110			48,110				
		総事業費	14 千円	144,823	143,664	136,595	136,587	131,304	139,596							
	単位あたりコスト	15 円	8,947	7,981	8,570	8,537	7,707	8,212								
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0							
		都からの補助金等	18 千円	250	250	5,276	0	0	0							
		その他の補助金等	19 千円	0	0	0	0	0	0							
		特定財源計	20 千円	250	250	5,276	0	0	0							
差引：一般財源		21 千円	144,573	143,414	131,319	136,587	131,304	139,596								
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	041
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内容	規模	単位	事業費(千円)
		安全パトロール業務委託			
		防犯協会補助	3	団体	9,588
		街角防犯カメラの設置	246	台	9,230
		地域防犯自主団体活動助成	14	団体	1,111
		その他(振り込め詐欺等の集会の開催や啓発チラシの作成 ほか)			8,995
(2) 事業実績	<p>巡回安全パトロールステーションを拠点に、防犯自主団体との合同防犯パトロール、区境合同パトロールや落書き消去活動を実施し、また、防犯自主団体を計画数以上に増加させることができました。防犯カメラについて、街角防犯カメラを6か所12台増設し、防犯協会への維持管理費用を継続助成しました。振り込め詐欺対策として、根絶集会の開催・根絶キャンペーンの実施や防犯マンガ集の配布、授業での活用、注意喚起標語の募集等多様な対策を実施し、被害件数を減少させることができました。地域の安全・安心を守るための学生ボランティアの拡充を図ることができました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>空き巣：平成18年 1,206件、平成22年 237件、平成23年 141件、平成24年 201件、平成25年 196件、平成26年 154件。 防犯自主団体：平成16年度 113団体、平成23年度 145団体、平成24年度 147団体、平成25年度 151団体、平成26年度 154団体。</p>			
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>安全パトロールの実施、犯罪発生情報メール配信及び街角防犯カメラの設置は、犯罪を抑止し、まちの安全を図るものとして区民から高く評価されています。 防犯自主団体への活動助成を継続・拡充してほしいという声が区民から多く聞かれます。 空き巣は減少していましたが、平成24年度は一時増加し、平成25・26年度は減少しました。安全パトロール隊、防犯自主団体によるパトロール活動や防犯啓発活動を更に連携を強め、継続していく必要があるという区民の声が寄せられています。 街角防犯カメラを自分の地域に設置してほしいと、さまざまな地域から区民の声が寄せられています。</p>			
	今後の予測	<p>東京オリンピック開催に向けて、犯罪発生の増加が見込まれます。区民が安全に安心して暮らすことができるために、防犯カメラの設置の要望が増加すると考えられます。 少子高齢社会の中で、高齢者が被害者となる、振り込め詐欺が増加すると見込まれます。被害に遭いやすい高齢者に向けた新たな対策が加速的に必要になります。 防犯対策としては、区としても、今までの取り組みを継続することに加え、新たな手口での犯罪に対応した取り組みを実施していく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>刑法犯認知件数は、警察との連携も強化され、区の安全パトロール隊や防犯自主団体によるパトロール活動、街角防犯カメラの増設及び区民への意識啓発等により、平成26年は平成14年以降最少となる、5,248件の被害数に抑えることができ、一定の成果をあげています。 平成25年に126件に増加した振り込め詐欺の被害防止対策に積極的に取り組み、平成26年には84件に減少させることができましたが、さらに対策を強化し、被害件数を減少させる必要があります。 防犯カメラの設置は、地域の防犯力向上に寄与してきましたが、耐用年数が経過した防犯協会の防犯カメラの段階的な撤去により、防犯力の低下を招かないよう、街角防犯カメラと通学路防犯カメラの設置及び耐用年数が経過したカメラのリニューアルを計画的に行っていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し(改善)・対象の見直し		
今後の進め方	<p>区内3警察署との連携を強化し、振り込め詐欺被害防止対策として、被害に遭う本人(主に高齢者)に意識啓発するだけでなく、家族や地域ぐるみで高齢者を守っていくために、根絶集会やキャンペーンを実施し、被害防止機器を導入していきます。加えて、空き巣被害防止に向けて、講習会やキャンペーンを実施していきます。 巡回安全パトロールステーションを拠点に、地域住民の防犯相談に乗り、区内の防犯自主団体の支援をし、地域住民と協働して合同防犯パトロール・区境パトロールや落書き消去活動を実施します。 耐用年数が経過した防犯協会の防犯カメラの撤去に伴い、地域の防犯力が低下することがないように、通学路防犯カメラの設置箇所を考慮しつつ、街角防犯カメラを計画的に設置していくと同時に、耐用年数が経過した街角防犯カメラをリニューアルしていきます。 地域の安全・安心を守るための学生ボランティアの活動の継続・拡充を図ります。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00076）

事務事業名称 消費者センター運営・維持管理			款 03	項 01	目 05	事業 001	整理番号 081					
現担当課名 区民生活部管理課		係名 消費者センター		連絡先電話番号 3398-3141		昨年度整理番号 076						
上位施策No・施策名 03 安全・安心の地域社会づくり						予算事業区分 既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和47年度										
	平成26年度担当課名	区民生活部管理課				事業評価区分	施設維持管理					
	対象	区内在住、在勤、在学		根拠法令等	(1) 消費者基本法 (2) 杉並区立消費者センター条例							
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	良好な施設の維持管理により、消費者行政の拠点として、消費生活に係わる相談や活動の場を提供する。多くの区民に消費者センターの存在や活動内容の理解を得ていく。		活動指標	教室等貸出施設の開館日数							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	消費者グループ等の活動及び区民の学習の場として、教室、グループ活動室、情報資料コーナー等を常時提供する。来所による消費者相談を受け、助言を行う場を用意する。		指標名(1)	相談業務受付日数							
				指標名(2)								
				成果指標								
				指標名(1)								
				指標名(2)								
				指標説明								
区分	単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度				
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)				
指標	活動指標(1)	1	日	358	358	358	358	358	100.0			
	活動指標(2)	2	日	245	244	244	244	244	100.0			
	成果指標(1)	3										
	成果指標(2)	4										
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	27,012	29,824	27,930	30,958	29,353	36,247	平成26年度 予算執行率(%)	94.8	
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	7	千円	21,264	23,684	21,965	24,558	23,064	30,000			
	職員数	常勤職員数	8	人	1.00	1.00	1.10	1.00	1.00	1.00		
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費	常勤職員分	11	千円	8,700	8,630	9,493	8,810	8,810	8,810		
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	35,712	38,454	37,423	39,768	38,163	45,057			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	99,754	107,413	104,534	111,084	106,601	125,858			
	財源	受益者負担分	16	千円	1,762	1,680	2,013	1,378	1,502	1,680		
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	1,762	1,680	2,013	1,378	1,502	1,680			
差引：一般財源(14-20)		21	千円	33,950	36,774	35,410	38,390	36,661	43,377			
受益者負担比率(16÷14)	22	%	4.9	4.4	5.4	3.5	3.9	3.7				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 081

平成26年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	建物総合管理・保守・点検委託			12,534
	施設貸出業務委託			9,589
	光熱水費			4,432
	印刷室及び保育室の管理			1,229
	その他（消費者行政関連事務費・維持管理経費）			1,569
(2) 事業実績	貸出施設・情報資料コーナーの管理・施設貸出業務は、環境課へ執行委任し、NPO団体に委託して実施しています。平成26年12月からは情報資料コーナーの一部を第1教室として改修しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	
評価と課題	産業振興センターの就労支援部門（就労支援センター）があんさんぶる荻窪内に移転することに伴い、あんさんぶる荻窪の利用者の形態と利用者数に影響が加わることが予想されます。就労支援センターの移転先により、消費者センター管理部分が縮小されることとなれば、その中で消費者団体や一般区民の施設利用の利便性を図っていく必要があります。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	
		II 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00077)

事務事業名称 消費生活相談及び消費者啓発			款 03	項 01	目 05	事業 002	整理番号 082				
現担当課名 区民生活部管理課		係名 消費者センター		連絡先電話番号 3398-3141		昨年度整理番号 077					
上位施策No・施策名 03 安全・安心の地域社会づくり						予算事業区分 既定事業					
事業開始 昭和47年度		実行計画事業 目標 01 施策 03 計画事業 04									
平成26年度担当課名 区民生活部管理課						事業評価区分 一般					
事務事業の概要	対象 消費者相談：区内在住・在勤・在学者 講座開催、啓発等：区内在住・在勤・在学者及び区内の消費生活団体等		根拠法令等 (1) 消費者基本法 (2) 杉並区立消費者センター条例								
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 相談者の意思が尊重され、被害の救済、損害の回復及び利益保護が図られること。 消費者としての意識の向上と正しい知識を習得し、「見極める能力を備え、自ら選択し対応できる」消費者になること。		活動指標 指標名(1) 相談受付件数 指標説明 指標名(2) 講座開催数								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 消費者が商品やサービスを購入又は利用する場合に生ずる契約などに関する相談を受け、助言やあつ旋を行う。 外部講師による消費者講座を開催する。また、出前講座は相談員や消費生活サポーターが地域へ出向き開催する。 啓発用リーフレットの作成や情報資料コーナーでの参考図書や映像資料の提供、ホームページでの情報発信等、消費者被害の未然防止措置を行う。		成果指標 指標名(1) 相談処理率 指標説明 指標名(2) 講座参加人数 指標説明 一般消費者講座+特別消費者講座+フォロー講座+出前講座								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1 件	3,577	4,000	3,829	4,000	3,927	4,000	98.2		
	活動指標(2)	2 回	56	50	41	48	29	48	60.4		
	成果指標(1)	3 %	99	100	98	100	99	0	99.0		
	成果指標(2)	4 人	2,407	2,000	1,458	2,000	1,223	2,000	61.2		
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	7,654	7,006	6,152	8,828	7,596	7,319	平成26年度 予算執行率(%)	86.0	
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	7 千円	2,279	622	461	1,878	1,658	698	就労支援センター移設のため、平成26年12月より平成27年3月まで第1・2・3教室改築工事により、利用不可期間あり。		
	職員数	常勤職員数	8 人	3.00	3.00	3.40	3.00	3.49	3.00		
		再任用職員数	9 人	3.00	3.00	3.05	2.00	2.02	2.00		
		非常勤職員数	10 人	8.00	8.00	8.00	9.00	9.16	9.00		
	人件費	常勤職員分	11 千円	26,100	25,890	29,342	26,430	30,747	26,430		
		再任用職員分	12 千円	11,790	11,580	11,773	8,100	8,181	8,100		
		非常勤職員分	13 千円	22,000	22,240	22,240	25,470	25,923	25,470		
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	67,544	66,716	69,507	68,828	72,447	67,319			
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	18,883	16,679	18,153	17,207	18,448	16,830			
	財源	受益者負担分	16 千円	91	10	3	70	60	10		
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0		
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	1,710	0		
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	91	10	3	70	1,770	10			
差引：一般財源(14-20)		21 千円	67,453	66,706	69,504	68,758	70,677	67,309			
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0				

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	082	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		消費者教育副読本の作成	4,500	部	773	
		悪質商法被害防止啓発（出前講座の回数）、その他啓発資材等	17	回	2,306	
		「くらしの窓すぎなみ」印刷	72,000	部	1,603	
		消費生活相談の充実			448	
		その他（ホームページ管理委託ほか）			2,466	
	(2) 事業実績	消費者教育副読本「家庭科副読本」（小学校5年生対象）4,500部製作、区内全小学校へ配布。「くらしの窓すぎなみ」奇数月発行各6,000部、臨時号36,000部発行。国・東京都・センター独自の相談員研修開催。消費生活パネル展。消費者の組織活動推進学習会助成。特別講演会ほか。				
	事業開始当初から現在までの変化	昭和43年の「消費者保護基本法」の制定以来、「特定商取引法」等が制定され、平成13年には、「消費者契約法」が施行されました。その後、消費者と事業者が自由で公正な取引を行うためのルールを整備し、同時に、悪質な事業者の監視・取締りや消費者被害の救済に関する制度を充実させるという「消費者の自立の支援」から、平成16年に「消費者保護基本法」は「消費者基本法」となりました。平成20年には市町村に消費生活相談等の事務の実施を求める「消費者安全法」が施行され、消費生活に関する法整備が行われました。また、消費者が安心して安全で豊かな消費生活を営むことができる社会の実現に向けて消費者庁が設置されました。平成24年には、消費者教育のための総合的・一体的な推進を目的とした「消費者教育の推進に関する法律」が制定されました。				
	事業環境の変化 （事業に対する意見・要望・苦情など）	最新の消費生活情報の提供、消費生活サポーター、消費者団体への支援、相談窓口時間の延長などの意見が寄せられています。				
	今後の予測	消費者を取り巻く社会経済情勢の変化の中、新たな類型の商品・サービスが生まれ、多種多様な商品・サービスが市場に流通しています。今後、一層の高度情報通信社会や国際化、技術の進展などに伴い、消費者取引が拡大し、利便性が向上する一方で、契約上のトラブルや被害の増加が見込まれます。超高齢化社会の中、悪徳商法や詐欺などの被害にあう高齢者が増加することも予想されます。これらに対応できる相談体制の強化、並びに啓発活動による周知を図ることが必要です。				
	評価と課題	消費者相談の内容が、ますます専門・高度化、複雑化しており、相談者や事業者に対する相談員の能力向上が課題です。超高齢社会の到来により増え続ける高齢者の相談への聞き取り能力の向上や、事業者との関係では、交渉力等のレベルアップが必要です。消費者センターのホームページでの注意喚起や啓発紙の発行により、消費者被害の発生や拡大防止に向けた啓発活動の強化と、消費者センターの認知度向上のPRも引き続き必要です。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	相談内容が専門・高度化し、複雑になる中、1件当たりの処理時間が長くなる傾向があります。相談への適切な対応のほか、処理の迅速化や処理時間の平準化なども検討が必要です。これらの課題に取り組むには、相談員の資質の向上が不可欠なため、独自の専門研修の開催や、国・東京都の研修などへの積極的参加を通じてレベルアップを図っていくことが必要です。啓発面では、消費者向けの講座実施のほか、消費生活サポーターとの出前講座など、区民と協働し実施していきます。さらに、高齢者を狙った消費者被害も悪質化・巧妙化しながら増加しており、関係部門と連携しながら被害防止に向けた啓発活動の強化が喫緊の課題となっています。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00415)

事務事業名称		街路灯の維持補修			款	05	項	03	目	04	事業	001	整理番号	434
現担当課名		杉並土木事務所			係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	415	
上位施策No・施策名										03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和35年度												
	平成26年度担当課名	杉並土木事務所			事業評価区分	一般								
	対象	すべての区道利用者			根拠法令等	(1)		地方自治法第281条の2第2項						
						(2)		杉並区街路灯設置基準						
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。			活動指標	指標名(1)		街路灯管理数						
					指標説明		街路灯修理件数							
					指標名(2)		街路灯修理件数							
					指標説明									
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	既設街路灯のポール等塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理及び電気料等の支払を行う。			成果指標	指標名(1)		街路灯稼働率							
					指標説明		((街路灯管理灯数×365日)-街路灯修理件数)÷街路灯管理数×365日							
					指標名(2)		街路灯修理率							
					指標説明		街路灯修理件数÷街路灯管理灯数							
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度	対計画比(%)				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1 灯	25,315	25,345	25,334	25,364	25,324	25,354	99.8					
	活動指標(2)	2 件	2,277	1,550	1,812	1,550	1,530	1,550	98.7					
	成果指標(1)	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0					
	成果指標(2)	4 %	9	6	7	6	6	6	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	270,468	287,024	283,757	310,545	310,475	342,054	平成26年度予算執行率(%)	100.0				
	(内)投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7 千円	22,992	24,427	22,380	26,771	26,730	30,640						
	職員数	常勤職員数	8 人	2.03	1.99	2.19	2.05	2.24	2.11					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	17,661	17,174	18,900	18,061	19,734	18,589					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14 千円	288,129	304,198	302,657	328,606	330,209	360,643						
	単位あたりコスト	15 円	11,382	12,002	11,947	12,956	13,039	14,224						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源		21 千円	288,129	304,198	302,657	328,606	330,209	360,643						
受益者負担比率	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

			整理番号	434	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		街路灯維持管理委託			203,987
		街路灯補修委託			106,488
		その他（ ）			
	(2) 事業実績	区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応を迅速に行いランプ交換等街路灯の適正な維持管理を行った。			
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ランプ交換等の実施回数や、定期的な故障等についての発見率に大きな変化はみられなかった。 （街路灯管理数値：平成5年度24,159灯、平成26年度25,324灯）			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	生活道路では、防犯灯としての照明の役割を求める声が寄せられている。			
	今後の予測	区全域での街路灯設置状況は、おおむね整備がなされ、急激な増加等の変動はないと予測される。			
	評価と課題	故障修理要望に迅速に対応するため、街路灯台帳システムの充実を図った。今後は、環境負荷の軽減や経費削減を図るため、街路灯の新設・改修事業と連携し、環境配慮型の照明の導入を進める。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
	今後の進め方	二酸化炭素の発生抑制や電気料金の削減を図るめ、水銀灯から環境配慮型照明への導入を進める。			

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00416)

事務事業名称 街路灯の新設・改修			款 05	項 03	目 04	事業 002	整理番号 435			
現担当課名 杉並土木事務所		係名 街路灯係	連絡先電話番号 4636		昨年度整理番号 416					
上位施策No・施策名 03 安全・安心の地域社会づくり						予算事業区分 投資事業				
事業開始 昭和35年度		実行計画事業 目標 01 施策 03 計画事業 07								
平成26年度担当課名 杉並土木事務所							事業評価区分 一般			
対象 全ての区道利用者		根拠法令等 (1) (2)		地方自治法第281条の2第2項 杉並区街路灯設置基準						
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 街路灯を新設・改修し、安全性を向上させる。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)		街路灯新設数 街路灯改修数					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 街路灯を新設する。 老朽化した街路灯を改修する。		指標説明							
			成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明		街路灯整備率 街路灯新設数÷街路灯新設計画数 街路灯改修率 街路灯改修数÷街路灯改修計画数					
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画(目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 灯	32	30	35	30	30	30	100.0	
	活動指標(2)	2 灯	920	1,000	1,107	1,000	1,082	1,000	108.2	
	成果指標(1)	3 %	133	100	117	100	100	100	100.0	
	成果指標(2)	4 %	64	100	111	100	108	100	108.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	157,517	173,033	171,892	180,855	178,951	180,466	平成26年度 予算執行率(%) 98.9	
	(内)投資的経費等	6 千円	155,719	170,166	155,586	177,966	177,144	177,833	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	155,719	170,166	155,586	177,966	177,144	177,833		
	職員数	常勤職員数	8 人	1.29	1.27	1.32	1.18	1.28	1.11	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	11,223	10,960	11,392	10,396	11,277	9,779	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費(5+11+12+13)	14 千円	168,740	183,993	183,284	191,251	190,228	190,245		
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15 円	406,906	460,900	791,371	442,833	436,133	413,733		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引:一般財源(14-20)		21 千円	168,740	183,993	183,284	191,251	190,228	190,245		
受益者負担比率(16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 435

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		街路灯の改修	1,082	件	164,964
		街路灯の新設	30	灯	9,021
		街路灯総点検			4,966
		その他（ ）			
(2) 事業実績	新設要望に迅速に対応し、街路灯の器具改修・光源改良事業を行った。また予防保全を高めるため街路灯ポールの総点検を行った。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	概ね区内全路線に街路灯の設置が完了したが、当面は継続的に道路改修等が続くため、一定数量の新設が必要となる。事業開始当時に比べ、新設よりも改修の比重が大きくなった。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	安全・安心への意識が高くなり、防犯の面から道路照明の充実を求める声が寄せられている。
	今後の予測	幅員が狭い区有通路等についても、防犯上の観点から街路灯を設置する必要があるため、現状の計画数量を維持する。
評価と課題	区内における街路灯の整備は、おおよそ全路線に実施済である。今後は、維持補修事業と連携し、二酸化炭素の抑制や電気量の削減を図るため、環境配慮型の照明の導入を進めていく。	

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	拡充
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	既設水銀ランプから環境配慮型セラミックメタルハライドランプ等への導入を進める。また小型水銀灯について環境配慮型の光源へ更新していく。	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00417)

事務事業名称		民有灯の助成(維持補修)			款	05	項	03	目	04	事業	003	整理番号	436	
現担当課名		杉並土木事務所			係名	街路灯係			連絡先電話番号	4636		昨年度整理番号	417		
上位施策No・施策名										03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分	既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和46年度													
	平成26年度担当課名	杉並土木事務所			事業評価区分	一般									
	対象	すべての道路利用者			根拠法令等	(1)		地方自治法第281条の2第2項							
						(2)		杉並区街路灯設置基準							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)	私道街路灯の適正な維持管理を行い、安全性を維持する。			活動指標	指標名(1)		私道街路灯修理件数							
					指標説明		電気料助成灯数								
					指標名(2)										
					指標説明										
活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)	既設私道街路灯のポール塗装・ランプ取替・故障修理・破損修理および電気料等の支払を行う。			成果指標	指標名(1)		私道街路灯修理率								
					指標説明		私道街路灯修理件数÷私道街路灯管理灯数								
					指標名(2)		電気料助成率								
					指標説明		電気料助成灯数÷電気料助成申請灯数								
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)						
指標	活動指標(1)	1	件	747	669	978	669	654	585	97.8					
	活動指標(2)	2	灯	8,585	8,605	8,544	8,564	8,512	8,532	99.4					
	成果指標(1)	3	%	12	8	11	8	8	7	100.0					
	成果指標(2)	4	%	100	100	100	100	100	100	100.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	63,599	76,803	75,081	79,926	79,834	88,266	平成26年度予算執行率(%)	99.9				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	7	千円	6,065	9,527	9,047	9,799	9,777	11,730						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.49	0.48	0.58	0.53	0.57	0.54					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	4,263	4,142	5,005	4,669	5,022	4,757					
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	67,862	80,945	80,086	84,595	84,856	93,023						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	90,846	120,994	81,888	126,450	129,749	159,014						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(14-20)		21	千円	67,862	80,945	80,086	84,595	84,856	93,023						
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 436

平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		民有灯補修			28,234
		私道街路灯故障修理委託			4,766
		私道街路灯維持補修工事			4,981
		電気料助成			41,853
		その他（ ）			
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	区民からの情報提供による故障修理等、緊急対応を迅速に行いランプ取替等私道街路灯の適正な維持管理を行った。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	私道街路は、概ね一定数量(約8,400灯)を整備し、灯数の増加による故障等も増えてきた。 管理数値（平成5年度8,313灯、平成26年度8,351灯）
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	街路灯は、区民生活の安全安心のため、必要不可欠のものであり、故障等には迅速な対応が求められる。
	今後の予測	現状通りの推移と思われるが、宅地の再開発等で新設の要望が見込まれるため、若干の増加が予測される。
評価と課題		今後も、現行での助成制度を維持し、私道上の安全な夜間通路の確保をして行く。維持管理については、町会・自治会を通して適正に行うとともに、故障修理等の要望には迅速に対応していく。

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	区民からの故障・修理要望を迅速に対応するため、街路灯管理番号を金属プレートからよりみやすいシールにし、設置していく。また、私道街路灯の適正な維持管理について、町会・自治会にPRを行っていく。	

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00418)

事務事業名称 民有灯の助成(建設補助)			款 05	項 03	目 04	事業 004	整理番号 437			
現担当課名 杉並土木事務所		係名 街路灯係	連絡先電話番号 4636		昨年度整理番号 418					
上位施策No・施策名 03 安全・安心の地域社会づくり					予算事業区分 投資事業					
事業開始 昭和46年度		実行計画事業 目標 01 施策 03 計画事業 08								
平成26年度担当課名 杉並土木事務所		事業評価区分 一般								
対象 全ての道路利用者		根拠法令等 (1) 地方自治法第281条の2第2項 (2) 杉並区街路灯設置基準								
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) 私道街路灯街路灯を新設・改修し、安全性を向上する。		活動指標 指標名(1) 私道街路灯新設数 指標説明 指標名(2) 私道街路灯器具改修数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) 申請に基づき、私道街路灯を新設する。 老朽化した私道街路灯の改修工事を行う。		成果指標 指標名(1) 私道街路灯整備率 指標説明 私道街路灯新設数÷私道街路灯新設計画数 指標名(2) 私道街路灯器具改修率 指標説明 私道街路灯器具改修数÷私道街路灯器具改修計画数							
区分		単位	平成24年度 実績	平成25年度 計画 実績		平成26年度 計画(目標値) 実績		平成27年度 計画	平成26年度 対計画比(%)	
指標	活動指標(1)	1 灯	15	20	13	20	12	20	60.0	
	活動指標(2)	2 灯	438	500	434	500	349	500	69.8	
	成果指標(1)	3 %	58	100	65	100	60	0	60.0	
	成果指標(2)	4 %	66	100	87	100	70	0	70.0	
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	34,160	35,018	34,390	37,084	36,175	37,994	平成26年度 予算執行率(%) 97.5	
	(内)投資的経費等	6 千円	33,398	33,625	33,588	35,691	35,449	36,734	特記事項	
	(内)委託費	7 千円	33,398	33,625	33,588	35,691	35,449	36,734		
	職員数	常勤職員数	8 人	0.25	0.25	0.27	0.24	0.26	0.23	
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	人件費	常勤職員分	11 千円	2,175	2,158	2,330	2,114	2,291	2,026	
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0	
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	36,335	37,176	36,720	39,198	38,466	40,020		
	単位あたりコスト (14-6)÷1)	15 円	195,800	177,550	240,923	175,350	251,417	164,300		
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0	
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0	
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0	
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	36,335	37,176	36,720	39,198	38,466	40,020		
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	437	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		街路灯新設委託		12	灯	3,598
		私道街路灯の改修		349	灯	30,960
		街路灯総点検				1,617
	その他（ ）					
(2) 事業実績		新設要望に迅速に対応し、設置年数の多い街路灯には、調査・点検を行い器具改修事業で安全性の向上を図った。また予防保全を高めるため私道街路灯ポールの総点検を行った。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	数量は、事業開始時と比べると少なくなっているが、民間による開発行為が続いているため、一定数量の増加が続いている。事業開始時の設置灯数が多かったため、改修を要する街路灯の数は増加傾向にある。				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	安全・安心への意識が高くなり、道路照明の充実を求める声が寄せられている。				
	今後の予測	新設数については、現在の数で推移すると見込まれる。今後は改修時期を迎える街路灯への対応が増加すると予測される。				
評価と課題		私道街路灯の新設要望には迅速に対応し、灯具の改修は、設計単価の上昇等により計画数の約70%の実施数であった。今後も現行の助成制度を維持し、私道街路灯の整備を進めるとともに、灯具の改修にあたっては、環境配慮型の導入を行っていく。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
今後の進め方		私道街路灯の助成事業は、安心・安全のまちづくりの観点から今後とも継続していく必要があります。二酸化炭素の発生抑制や電気使用量の削減を図るため、新光源の導入に向けた調査・研究を行っていきます。				

平成27年度杉並区事務事業評価表(1)

(00419)

事務事業名称		交通安全運動の推進				款	05	項	03	目	05	事業	001	整理番号	438	
現担当課名		交通対策課		係名		交通対策係		連絡先電話番号		3553		昨年度整理番号		419		
上位施策No・施策名										03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分		既定事業		
事業開始		昭和40年度		実行計画事業		目標 01		施策 03		計画事業 05						
平成26年度担当課名		交通対策課										事業評価区分		一般		
対象		区民及び道路利用者、各署交通安全協会、協議会、各地域交通安全活動推進委員協議会				根拠法令等		(1)		地方自治法第2条第8項		(2)		交通安全対策基本法第4条、第18条第1～3項		
事務事業の概要	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか)				活動指標		指標名(1)		交通安全啓発活動を実施した延時間数		指標説明		自転車安全利用講習会参加者(小学生対象)			
	区民及び道路利用者の交通安全意識を向上させることにより、交通事故発生件数を減少させる。				指標名(2)						指標説明					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段)				成果指標		指標名(1)		交通事故件数の減少件数		指標説明		前年度事故件数 - 当年度事故件数			
交通安全協会等への補助金の交付 交通安全啓発指導の実施及び反射材等交通安全啓発用品の配布 区立小学校4年生を対象に、自転車教室を実施し、自転車安全利用証を交付する。 中学生を対象としたスタントマンを利用した自転車安全教室の実施 高齢者向け交通安全教室の実施 講座型「はじめて学ぶ自転車のルール」の実施 杉並おやこじてんしゃプロジェクトの実施				指標名(2)				自転車事故件数の減少件数		指標説明		前年度事故件数 - 当年度事故件数				
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	対計画比(%)							
指標	活動指標(1)	1	時間	452	500	546	500	587	500	117.4						
	活動指標(2)	2	人	3,131	3,100	3,097	3,400	3,453	2,900	101.6						
	成果指標(1)	3	件	163	40	125	85	254	85	298.8						
	成果指標(2)	4	件	124	20	99	20	73	20	365.0						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	18,418	19,431	17,552	18,585	16,577	21,017	平成26年度予算執行率(%)	89.2					
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	6,783	7,584	6,112	6,428	5,849	6,815	平成26年度は、自転車安全利用啓発用品を街頭で受け渡しやすく、必要の高いものに特化し購入した結果、費用の軽減につながりました。						
	職員数	常勤職員数	8	人	2.51	2.50	2.80	3.00	3.20	1.70						
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00						
	人件費	常勤職員分	11	千円	21,837	21,575	24,164	26,430	28,192	14,977						
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0						
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	2,830						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	40,255	41,006	41,716	45,015	44,769	38,824							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	89,060	82,012	76,403	90,030	76,267	77,648							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	40,255	41,006	41,716	45,015	44,769	38,824							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	438	
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容		規模	単位	事業費（千円）
		交通安全啓発活動		587	時間	7,834
		各種団体への支援		4	団体	4,974
		自転車安全利用証		2,529	枚	1,339
		スタントマンによる自転車安全利用講習会		9	回	2,430
		その他（ ）				
平成26年度の事業実施状況	(2) 事業実績	警察と協力のもと様々なキャンペーン活動を実施するほか、小中学生を対象とした自転車安全利用教室や高齢者向けの交通安全講習会を開催しました。また、社会人が気軽に自転車のルールを学ぶことができるよう平日夜間や週末に参加できる講座型の講習会「はじめた学ぶ自転車のルール」を開催しました。さらに、自転車安全利用に関する勉強会を協働事業「杉並おやこじてんしゃプロジェクト」として実施しました。				
		<p>最近5年間の区内の交通事故発生件数は、平成26年には1,481件と5年前と比べて約30%減りました。自転車が関与する事故は約4割を占めるとともに、高齢者が関与する交通事故の割合が年々増える傾向にあります。</p> <p>自転車利用のルール・マナーの周知と危険走行に対する取り締まりや罰則の強化を求めたり、自転車事故発生時に備えた保険に関する情報提供を求める声が多く寄せられています。</p> <p>区内の交通事故件数は順調に減少していますが、交通事故死者数は横ばい状態が続いています。交通事故に対する自転車が関与する割合は減少していますが、事故による高額賠償請求のニュースなど全国的に自転車の安全利用への関心が高まっています。平成25年7月に「東京都自転車の安全適正な利用に関する条例」の施行、続いて平成27年6月改正道路交通法の施行と法整備が整ったことで社会全体で自転車安全利用が促進され、死亡・重傷事故の減少が進むことが期待されます。</p> <p>自転車事故件数は減少していますが、交通事故発生件数に占める割合は依然高い状態が続いています。自転車には免許制度が無く、交通ルールを体系的に学ぶ機会が多くありません。自転車運転マナーの向上のため、誰もがルールを学べる機会を増やし、受講率を上昇させます。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化					
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）					
	今後の予測					
評価と課題						
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持			
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）			
	今後の進め方	出前型の講習会だけでは、参加者が限られるため、子どもや会社員、高齢者など幅広い世代の方が参加できるよう、開催曜日や時間帯を工夫し、誰もが気軽に参加できる講習会を区内各地で開催します。民間事業者等と協働して交通安全教室を実施するなど、交通安全への意識を高める工夫をします。交通事故被害者の救済に資するため、自転車利用者に対し、加害者となるリスクの説明と併せて、各種保険の利用を推奨します。				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00420）

事務事業名称		交通安全施設の維持補修			款	05	項	03	目	05	事業	002	整理番号	439
現担当課名		杉並土木事務所			係名	交通安全施設係			連絡先電話番号	4635		昨年度整理番号	420	
上位施策No・施策名										03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和36年度												
	平成26年度担当課名	杉並土木事務所			事業評価区分	一般								
	対象	区が管理する道路の利用者			根拠法令等	(1)		地方自治法第281条の2第2項						
						(2)		道路法第42条						
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	区が管理する道路における交通安全施設の機能を適正に保持する事により、道路利用者の安全を確保する。			活動指標	指標名(1)		交通安全施設の補修件数						
					指標説明									
					指標名(2)									
					指標説明									
活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	破損した交通安全施設の補修及び自発光式交差点			成果指標	指標名(1)		交通安全施設の相談件数に対する補修率							
					指標説明		補修件数÷相談件数							
					指標名(2)									
					指標説明									
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比(%)					
指標	活動指標(1)	1 件	523	500	475	500	498	500	99.6					
	活動指標(2)	2												
	成果指標(1)	3 %	100	100	100	100	100	100	100.0					
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	42,598	42,929	41,947	46,395	46,064	47,019	平成26年度 予算執行率(%)	99.3				
	(内) 投資的経費等	6 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	7 千円	39,784	40,167	39,304	43,907	43,726	44,580						
	職員数	常勤職員数	8 人	1.46	1.40	1.47	1.48	1.25	1.03					
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11 千円	12,702	12,082	12,686	13,039	11,013	9,074					
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0					
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	55,300	55,011	54,633	59,434	57,077	56,093						
	単位あたりコスト (14-6)÷1	15 円	105,736	110,022	115,017	118,868	114,612	112,186						
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0						
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	55,300	55,011	54,633	59,434	57,077	56,093						
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	439
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		道路反射鏡等補修（道路反射鏡、防護柵、標識の修理ほか）	498	件	42,690
		交通安全施設清掃委託（自発光式交差点鉾）	506	基	1,036
		自発光式交差点鉾ランプ交換	31	基	395
		自発光式交差点鉾電気料金	68	基	335
		その他（原材料費ほか）			1,608
(2) 事業実績	<p>既存交通安全施設において、車両衝突等の外的要因による損傷施設の緊急補修や経年劣化による施設の更新を行いました。 また、主に交差点内に設置している自発光式交差点鉾（夜間点滅）については、全箇所の点検及び清掃を実施しました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	交通安全施設に関する新規設置及び改良・補修等の要望は、依然として増加傾向にあります。また、施設の経年劣化や車両衝突等の外的要因による損傷の補修も増加してきています。			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	交通安全への意識の高まりから、道路反射鏡の面向き直しや防護柵等の破損に対する補修の要望が増えています。 また、自転車の運転マナー低下等に伴い、交通安全の確保に対する要望も多くなっています。			
	今後の予測	今後も引き続き、自転車マナー低下等に伴う交通安全対策の要望が増加すると予想されます。また、区民等の交通安全への意識の高まりから、交通安全確保のための施設整備や補修件数が増加するとともに、施設の経年劣化に伴う更新も増加していきます。			
評価と課題	交通安全施設の点検や清掃の実施、及び、経年劣化による施設の更新や車両衝突等による施設の破損に対する迅速な緊急修理を通じて、道路利用者の安全を確保してきました。 今後も引き続き、交通安全施設の整備事業と併せ、維持管理の効率化や経費の節減と安全性の確保に取り組んでいきます。				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>交通の要所である交差点内に設置している自発光式交差点鉾（夜間点滅）については、毎年、点検及び清掃を実施し、健全性の確保に努めていきます。 道路反射鏡の鏡面については、交換頻度の低減化を図るため、引き続き、ガラス面から耐久性の高いステンレス製鏡面への交換を進めていきます。</p>				

平成27年度杉並区事務事業評価表（1）

（00421）

事務事業名称		交通安全施設の整備				款	05	項	03	目	05	事業	003	整理番号	440
現担当課名		杉並土木事務所		係名		交通安全施設係		連絡先電話番号		4635		昨年度整理番号		421	
上位施策No・施策名										03 安全・安心の地域社会づくり		予算事業区分		投資事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和36年度		実行計画事業		目標 01		施策 03		計画事業 06					
	平成26年度担当課名	杉並土木事務所										事業評価区分		一般	
	対象	区が管理する道路の利用者			根拠法令等		(1)		地方自治法第281条の2第2項		(2)		道路法第45、85条		
	事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	各種交通安全施設を整備・充実させ、交通事故の防止・減少を図る。			活動指標		指標名（1）		道路反射鏡の整備数（決算数値）		指標名（2）		自発光式交差点鈺の整備数（決算数値）		
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手段）	道路反射鏡、自発光式交差点鈺、防護柵等の施設を整備し、交通安全の充実を図る。 「道路維持管理指針【道路標識編】」に基づき、効率的な道路標識の改修を図るとともに、併せて標識板面の英語表記化を行う。			成果指標		指標名（1）		道路反射鏡の整備数		指標名（2）		自発光式交差点鈺の整備数		
区分		単位	平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度	平成26年度						
			実績	計画	実績	計画（目標値）	実績	計画	対計画比（%）						
指標	活動指標（1）	1	基	108	100	110	100	87	100	87.0					
	活動指標（2）	2	基	26	25	37	25	35	60	140.0					
	成果指標（1）	3	基	108	100	110	100	87	100	87.0					
	成果指標（2）	4	基	26	25	37	25	35	60	140.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	109,104	148,503	147,287	110,419	109,600	136,400	平成26年度予算執行率（%）	99.3				
	（内）投資的経費等	6	千円	109,104	148,503	147,287	110,419	109,600	136,400	特記事項					
	（内）委託費	7	千円	105,564	144,590	143,380	106,456	105,637	132,252	道路維持管理指針【道路標識編】に基づき、道路案内標識（2基）及び地点名標識（10枚）の改修を行い、併せて標識板面の英語表記化を図りました。					
	職員数	常勤職員数	8	人	3.75	3.60	3.78	3.52	3.99	3.97					
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00	1.00					
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分	11	千円	32,625	31,068	32,621	31,011	35,152	34,976					
		再任用職員分	12	千円	0	0	3,860	4,050	4,050	4,050					
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費	14	千円	141,729	179,571	183,768	145,480	148,802	175,426						
	単位あたりコスト	15	円	302,083	310,680	331,645	350,610	450,598	390,260						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0					
		国からの補助金等	17	千円	0	17,050	17,050	1,100	1,100	7,700					
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計		20	千円	0	17,050	17,050	1,100	1,100	7,700						
差引：一般財源		21	千円	141,729	162,521	166,718	144,380	147,702	167,726						
受益者負担比率	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成27年度杉並区事務事業評価表（2）

				整理番号	440
平成26年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		道路反射鏡新設・改良	87	基	25,224
		自発光式交差点点検新設・改良	35	基	5,450
		視覚障害者誘導標新設・改良	527	枚	4,198
		白線新設・改良	34,028	m	22,832
		その他（すべり止め舗装新設・改良ほか）			51,896
(2) 事業実績	<p>区内警察署・学校・PTA等と合同で、12小学校の通学路点検を実施し、交差点及び路側帯内のカラー舗装化や自発光式交差点点検（夜間点滅）を交差点内に設置するなど、交通安全対策を実施しました。</p> <p>また、道路維持管理指針【道路標識編】に基づき、道路案内標識（2基）及び地点名標識（10枚）の改修を行い、併せて標識板面の英語表記化を図りました。</p>				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>交通安全施設に関する新規設置及び改良等の要望は、依然として増加傾向にあります。また、道路標識については、標識令改正に伴い、英語表記化されていない標識板面を英語表記化する必要があります。</p> <p>【主な交通安全施設の管理数値（各年4月1日時点）】</p> <p>防護柵：40,489m（昭和57年）・36,680m（平成15年）・36,643m（平成27年）</p> <p>道路反射鏡：3,386基（昭和57年）・4,790基（平成15年）・4,899基（平成27年）</p> <p>道路標識：1,632基（昭和57年）・1,467基（平成15年）・1,645基（平成27年）</p>			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>生活道路における自動車及び自転車マナーの低下に伴い、交通安全の確保に関する要望が増えていきます。中でも、見通しの悪い交差点における道路反射鏡の設置や注意喚起を促す立看板の設置要望は多くなっています。</p>			
	今後の予測	<p>今後も道路反射鏡などの交通安全施設の新規設置要望が増えると予想されます。</p> <p>また、英語表記化されていない道路標識については、順次、改修に併せて英語表記化を図っていく必要があります。</p>			
評価と課題	<p>交通安全対策に対する施設の設置要望を多数受け付けておりますが、一部では、設置条件が満たされない等の理由で、要望に沿った施設が設置できない場合があります。そのような場合は、現場状況を踏まえ、代替となる最良の施設を整備し、効果的な交通安全対策を図ってきました。</p> <p>今後も、区民の方々からの要望を真摯に受け止め、効果的で効率的な交通安全施設を整備していきます。</p> <p>また、道路標識については、「道路維持管理指針【道路標識編】」に基づき、効率的な維持管理を行うとともに標識板面の英語表記化を図っていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業コストの方向性	現状維持		
		II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）		
今後の進め方	<p>今後も区内警察署、学校、PTA、地域住民等と連携を図りながら、生活道路における交通安全対策に取り組んでいきます。</p> <p>引き続き、交通事故が頻発する交差点等においては、区内警察署と情報交換を図りながら、効果的で効率的な施設を設置し、経費の低減を図りながら交通安全対策を図っていきます。</p> <p>「道路維持管理指針【道路標識編】」に基づき、効率的な維持管理を行うとともに標識板面の英語表記化を図っていきます。道路反射鏡についても「道路維持管理指針【道路反射鏡編】」を策定し、効率的な維持管理を行っていきます。</p>				